【 C 家族支援 】　2．家族・保護者支援　共通分野

教育と福祉における家族・保護者支援に共通する部分と、異なる部分を把握するとともに、家族・保護者に対する支援の意義及び具体的な取組について理解する。また、障害児・者と家族・保護者支援における関係機関と専門職の役割を理解し、支援の実際を知る。

◆主な内容◆

・障害受容の理解と支援
・障害児・者と家族等の支援における関係機関と専門職等の役割
・障害児・者と家族等に対する支援の実際
・家族会　　・きょうだい支援
・保護者による発達特性の理解　　・保護者面談

◆研修講座名（例）◆

「家族・保護者支援について」（講義 90 分）

・発達障害児・者の支援には、家族も重要な援助者であるという観点から、発達障害児・者の家族を支援していくことが重要である。特に家族の障害受容、発達支援の方法などについては、相談及び助言、情報提供や発達障害児・者の家族がお互いに支え合うための活動の支援など、十分に配慮された支援が大切であり、その意義について概説する。
・発達障害児・者及び家族等支援事業として、①ペアレントメンター養成等事業、②家族のスキル向上支援事業（ペアレントプログラム、ペアレントトレーニングの実施）、③ピアサポート推進事業、④その他本人・家族支援事業があり、その取組について概説する。
・家族会やきょうだい支援について概説する。
・発達障害のある子どもやその疑いがある子どもの保護者への支援の意義及び具体的な取組について概説する。
・障害受容やメンタルヘルスなど保護者の心情を踏まえ、信頼関係を築きながら子どもの支援ニーズや子育てに関する支援ニーズ等を把握することの重要性について概説する。
・保護者を支援するための面談・カウンセリング技能、保護者支援のための施策の情報提供及び利活用等について概説する。

「家族・保護者支援の実際」（演習 90 分）

・ペアレントプログラムやペアレントトレーニング、保護者面談やカウンセリング技能について、実際に体験し、演習を通して家族・保護者支援について学ぶ機会を設定する。

◆到達指標◆（教育関係者・福祉関係者共通）

初級：家族・保護者支援の重要性や取組について説明できる。
中級：家族・保護者支援の重要性や取組を踏まえ、必要な取組を実践できる。
上級：家族・保護者支援の重要性や取組について他機関・他職種に対して、適切な実態把握に基づいて個々のケースにおける課題を分析し、必要な支援を提案できる。

参考資料　43，59，60，117，121，122